

令和3年3月12日 基地周辺対策特別委員会 議事録
9時58分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 賀屋 幸治

副委員長 西村 一啓

委員 原田 孝徳、中川 智之、和田 芳弘、網谷 芳孝、児玉 朋也

議長 細川 雅子

副議長 寺岡 公章

○欠席委員 (1人)

委員 山本 孝三

○賀屋委員長 おはようございます。少し早いんですけども、定足数に達しておりますので、ただいまより会議を開きます。

なお、山本委員より欠席の届けが出ておりますので、よろしく願いいたします。

開会に当たり、市長に御挨拶をいただきたいと思っております。

市長。

○入山市長 基地周辺対策特別委員会開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○賀屋委員長 ありがとうございます。

それでは、日程にしたがって進めていきたいと思っております。

まず、日程1、執行部報告事項についてを議題といたします。

執行部から報告をお願いいたします。

危機管理課長。

○吉村危機管理課長 おはようございます。

それでは、岩国基地周辺状況の定例報告をさせていただきます。

お手元に配付をしております資料の確認ですが、レジュメにありますように1番目の阿多田地区航空機騒音状況についてですが、資料1から資料4までが各種の騒音状況の図表となっております。2番目のその他報告資料についてとしまして、資料5をお配りしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、まず、阿多田島の騒音状況から御報告をいたします。

今回は11月から1月までの3カ月間となります。

最初に、資料1をお開きください。

こちらは阿多田地区におけます日常の航空機の騒音状況について、漁協の職員の方に依頼をしまして御自身や住民の方が感じたことを実情等をまとめまして記載をお願いしているものでございます。この報告内容につきましては、毎月防衛省のほうに騒音苦情の実態としまして情報を提供しているところです。

続きまして、資料2になりますが、こちらは漁協の屋上に防衛省が設置しております騒

音自動測定器から航空機等が飛来した際の音をデシベル値で表しております。1日単位、発生時間別で集計した結果となっております。90デシベル以上となったところが黄色表示となっておりますが、前回報告時の3カ月間では、この90デシベル以上というのが36回だったものなんですけど、今回、11月上旬に空母艦載機が帰還して以来、11月は98回、12月が89回、1月も98回とですね、一気に騒音の発生回数が増加している状況となっております。

続きまして、資料3になります。

こちらは防衛省が岩国航空基地の周辺25カ所に設置しております騒音測定器から計測されました値をうるささ指数に変換して集計しているものです。こちらは全て中国四国防衛局のホームページ上に掲載しているものとなります。

最初の表は月別平均値を掲載したものとなります。4枚目以降が毎日の計測結果を示した表となっております。大竹市の測定地点は7番目の阿多田島漁業協同組合と9番目のサントピア大竹となります。こちらの数値でも阿多田島の数値は11月から急激に上昇しております。他の測定地点のうち、居住地に該当する部分の中では、阿多田島が一番高い数値、岩国市市街地よりも騒音が激しくなっているということが見て取れます。

次に、資料4になりますが、こちらは資料3のW値の月別平均値を折れ線グラフで表したのようになります。7番目の阿多田島と3番目に表示してある岩国基地の北側に位置する岩国市三笠町東中学校、ここの数値の比較となっております。

データの見方としましては、平成20年度が滑走路沖合移設前、平成28年度が沖合移設後、令和元年度と令和2年度が空母艦載機移転後の直近の計測値の比較表となっております。このグラフを見ても、やはり11月以降、令和元年度と令和2年度で同じ曲線をたどっているように、艦載機が5月に大体空母に帯同して出ていくわけなんですけど、それから10月までは比較的少なくなっており、11月に帰還をしてからは騒音が増加していくというサイクルが常態化しているということが見て取れます。

最後になりますが、レジユメ2にあります、その他の報告としまして、資料5になります。

岩国基地の動きとしまして、こちらは既に報道等もされて御存じだとは思いますが、陸上自衛隊に納入されるオスプレイの5機が米国から岩国基地に輸送されることになったという内容について、中国四国防衛局から情報提供されたものとなります。1月24日に岩国基地に到着し、陸揚げをされております。その後、整備が終了した機体から随時陸上自衛隊の木更津駐屯地のほうに向けて移動するわけなんですけど、現在、2月24日に1機が移動した後は、その他2機目以降については、まだ報告は受けてない状況です。

定例的な報告となりますが、以上となります。よろしくお願いたします。

○賀屋委員長 ありがとうございます。

続きまして、広報おおたけ令和3年2月号掲載の岩国基地に所属する米軍機による大竹市の騒音状況の騒音測定箇所が全て阿多田島で記載をされていたことについて執行部から報告をお願いいたします。

総務部長。

○中村総務部長 それでは、広報おおたけ令和3年2月号の掲載内容の誤りにつきまして、

御報告を申し上げます。

広報おおたけ令和3年2月号9ページに掲載の、岩国基地に所属する米軍機による大竹市の騒音状況の航空機騒音の発生状況を示す表におきまして、測定地点を誤植するという事案がございました。誠に申し訳ございませんでした。

具体的には、県内6地点とそれから参考2地点の表示が全て大竹市阿多田島になっていたというものでございます。この原因につきましてですね、市のほうで確認をいたしましたところ、何回か市と委託業者との間で原稿のやり取りがあるわけなんですけれども、市のほうで修正等の確認をしたもの、それをまた業者のほうで手直しをしていくという作業が続くわけなんです、その作業の中で、委託業者のほうにおいて、表の微調整を行った際に誤植が発生をしたというものでございました。それは、市のほうで修正を指示をした部分ではなかったため、確認の漏れが生じたというものでございます。お互いにやり取りをする中で、この箇所を直しました、この箇所を直してくれといった分のやり取りが不足をしていたと認識をしております。結果といたしまして、最終的に第3校正、原稿として市に提出がありましたけれども、市のほうは、そういった事案、作業が行われたということは把握していなかったために、最終的にそれが印刷をされ、配付をされたということになっております。

本市の対応といたしましては、2月2日に本事案を把握いたしまして、その日のうちに市ホームページ掲載の広報おおたけ2月号の該当ページのデータを修正したものに差し替えますとともに、おわび文を掲載をいたしました。また、市のFacebookにおいてもおわび文を掲載するという対応をいたしております。訂正文等の配付も検討いたしましたけれども、かえって自治会の方々に、御迷惑をおかけするかと思ひまして、そういった最小限の対応にとどめております。

また、広報おおたけ3月号におわび文とともに正しい表のほうに掲載をさせていただいております。

今後の再発防止策につきましては、市においても委託業者との原稿のやり取りの際は、業者による追加修正の有無、そういったものも確認をするなど、双方の連絡確認、こちらのほうを密にするということで再発防止のほうに努めてまいりたいと考えております。

このたびの誤植事案につきまして、改めておわびを申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

○賀屋委員長 ありがとうございます。3月号でおわび文と訂正した表を記載しているということで今、お手元のタブレットのほうにもありますように、なかなか注意をして見ないと気づきにくいところではあるんですけれども、間違いはしっかりおわびして訂正したということでございます。

それでは、今までの報告についてですね、確認したい点などありましたら、質疑を認めます。

質疑はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○賀屋委員長 質疑はないようでございます。

以上で、日程1については終了といたします。

続きまして、日程2、令和3年度以降の再編交付金に代わる支援制度の見込みについてを議題といたします。

執行部のほうからこの情報、あるいは見込みについての考え方、何かありましたらお願いいたします。

総務部長。

- 中村総務部長 支援制度の見込みということでございますが、状況といたしましては前回の委員会での御報告と状況としては変わっておりません。今後ともですね、国に対して要望してまいりたいと考えております。

以上でございます。

- 賀屋委員長 ありがとうございます。

それでは、本件について特に聞いてみたいこと、確認をしたいことがあればお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 賀屋委員長 特にないようでございます。

それでは、執行部からの説明を終わります。

それでは、日程2については終了といたします。

続いて、日程3に入りますが、ここからは議会内部の話となりますので、執行部の皆さんは退席いただいて結構でございます。ありがとうございました。

それでは、続きまして、日程3、今後の取り組みについてを議題といたします。

この基地周辺対策特別委員会のメンバーの構成では、令和3年9月にはまた改選ということになりますので、このメンバーでの今までの取り組みについての総括を行い、6月定例会に中間報告をして議案として提出するということが必要になろうかと思っております。そういった中で、この委員会活動の中間報告の案をどなたか作成していただければ助かるんですが、ぜひ、私にという方がおられましたら、遠慮なく手を挙げていただきたいと思いますんですが、いかがでしょうか。

それでは、希望者はおられませんので、例年は正副委員長で案をつくって、また、皆さんにその修正等意見があれば行っていくということになろうかと思っております。

それでは、正副委員長のほうで案をつくって報告をしたいと思っておりますけども、これによるのでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 賀屋委員長 はい、分かりました。それでは副委員長と一緒につくります。

それで、4月にある程度案ができたなら日程を皆さんのほうにお知らせをして、基地周辺対策特別委員会を開催して報告をしていきたいと思っております。振り返ってみれば、去年の1月18日に阿多田島のほうへ意見交換会という形で行きまして、阿多田島のほうからの意見、あるいは要望を13項目いただいて帰り、執行部のほう、あるいは国のほうに確認、あるいは要望の回答を、整理をしてもらうのに少し時間がかかって。ちょうど昨年この頃ですから、新型コロナウイルスの対策が非常に厳しいものとなって、どこかにその辺の調整に

行くにしても、あまり行くことはばかられるということで、活動自体としては、非常に制限されておるといことがありましたけども、それで最終的に令和2年11月18日に、この要望に対する回答というのを正式に阿多田島のほうに提出をしてきました。満足な回答もありましたけども、そうでない回答もあったということで引き続いて取り組んでいかななくてはいけない問題もあるわけですけども、一番は先ほど執行部のほうに確認をしました再編交付金の扱いについて、今後どうなるのかということも阿多田島民の方も非常に心配をされております。そういうことも含めて、大竹市だけではございませんけども、岩国市、和木町、周防大島町、それから大竹市、2市2町でつくる岩国基地問題議員連盟連絡協議会というのがあるわけですが、そちらのほうに今ほとんど加盟はしていただいていますけども、本来は昨年1月に、総会があったんですが、その中で要望活動をしっかり進めていくという中で去年の7月3日に岩国基地問題議員連盟連絡協議会があったんですけども、そこの中ではしっかりと再編交付金のことも含めた特別要望をつくっていくということで話がありました。最終的に特別要望は昨年11月に国のほうへ提出をされております。これは大竹市の議長も同行して提出ということでございまして、国のほうもしっかりその辺を受け止めて対応していくという返事をいただいておりますけども、再来年度予算になりますから、今年6月頃から本格的に次年度の予算要求、あるいは取り組みを、財務省のほうを含めて、働きかけるということになるかと思っております。そういった経緯がありながら、我々としてもなかなか新型コロナウイルスの関係で直接に国のほうに要望に行くということもかないませんでした。そういうこともあって、活動そのものがどのように評価をしているのかというのがあるんですけども、再編交付金については大竹市だけの問題ではないので、その点は岩国基地問題議員連盟連絡協議会と一緒に取り組みというふうにとらえて、一番大きな市は岩国市でございますから、岩国市がしっかり頑張っていただければ再編交付金も一緒に解決するんだろうと考えております。

そんなこともいろいろありまして、中間報告をどのようにまとめていくかというのは、副委員長と2人で案を考えていきますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それと、今回は、中間報告の案をですね、皆さんに提示するために4月中に日程を調整したいんですけども、いかがでしょうか。特に何日は駄目とかいうのがあれば。

はい、局長。

○田中議会事務局長 すみません、事務局のほうから。今ですね、議長それから委員長も公務入っている日でございますと、4月14日、20日、21日、22日、こちらが既にもう公務が入っているという状況です。

以上です。

○賀屋委員長 4月14日、20日、21日、22日以外ということですね。あんまり遅くなるとゴールデンウィークにかかるんですけども、後半のほうがいいでしょうかね。

日程はまた調整させてもらって連絡をさせていただきます。よろしくお願ひします。

それでは、以上で本日の全ての日程を終了いたしましたので、基地周辺対策特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。

10時20分 閉会